

未来へ繋ぐ果樹野菜花きの安定生産プロジェクト



現状・課題

- 果樹や野菜花き産地では、生産者の高齢化に伴う担い手と生産量の減少が問題となっている。また、近年の高温等気象変動の影響による収量減や品質低下が問題となっている。
- 果樹、野菜、花き生産者の所得向上のため、高品質安定生産に向けた生産振興に必要な機器や施設の整備に取り組むことが重要である。
- 共同利用施設等の老朽化に伴い、再編整備等が今後多く見込まれる。

取組

<果樹、野菜、花き共通>

● 労働力不足への対応

- ・高齢農家や兼業農家等の農作業負担軽減を図るため、防除用ドローンやロボット草刈機などのスマート農機等の導入を促進するとともに、ドローン防除等を請け負う農作業受託組織の育成・活用に取り組みます。

● 気候変動への対応

- ・気候変動リスクへの対応を進めるため、マルチ栽培などによる高品質果実の生産、耐風性や耐暑性を高めるなどの施設の高度化に資する設備投資を促進します。

● 施設等の整備

- ・共同利用施設の再編整備等の支援を行います。

<果樹>

● 働きやすい園地づくりの推進

- ・スマート農機の導入に適した園内道整備や省力樹形等への改植に取り組みます。

<野菜・花き>

● 施設園芸や露地野菜の生産性向上

- ・施設園芸や露地野菜の生産性向上を図るため、施設園芸のDX化やスマート農機等の新技術の導入、請負防除のためのドローン技能認定取得等を支援します。

寄附金の使途

- ハウス等施設の高度化に要する経費
- 省力化や安定生産を推進するためのスマート農機や新技術の導入等に要する経費
- 共同利用施設整備に要する経費